

海外安全官民協力会議 第２２回本会合の開催

２０２５年７月９日

１ ７月８日、海外安全官民協力会議第２２回本会合が外務省主催の下、開催されました。同会合には、警察庁及び防衛省のほか官民協力会議本会合のメンバー企業・団体から３６名が参加し、外務省は領事局長、政策課長、海外邦人安全課長、邦人テロ対策室長ほかが出席しました。

２ 本会合では、外務省から以下について説明を行いました。

- （１） 領事局の重要な取組みとして、①邦人保護、②領事業務のデジタル化、③外国人との秩序ある共生が挙げられ、①に関連し、８月１日に領事局の機構改革を行い、海外邦人緊急事態課、海外邦人安全支援室が新たに発足する。
- （２） 在留届や「たびレジ」、在外選挙についての認知度を上げるために各種取組みを行っている。
- （３） 邦人保護のため、平時及び緊急時いずれにおいても現地公館との連絡を密にいただき、最近の中東情勢のように、緊急事態においては出国を含め早めの判断を行い、また、危険情報の本文とあわせて領事メール等の情報も確認してもらうことが重要。
- （４） テロは、世界的に引き続き発生しており、邦人が巻き込まれてもおかしくないテロも欧州等において発生しており、今後、中東情勢に関連したテロへの注意も必要。

３ 特別講演として、福永在中国日本国大使館総領事から中国における情勢及び邦人の安全対策についてオンラインで説明を行いました。

４ また、一部参加企業から、最近の中東情勢悪化時の退避を含む対応につき説明があり、活発な意見交換が行われました。

（了）